

株式会社ガンバ大阪 代表取締役社長 小野忠史より挨拶、ならびに概要を説明

本日はお忙しい中、また突然のご案内にも関わらず、弊社記者会見の方にお越しいただきまして誠にありがとうございます。弊社クラブ所属のアデミウソン選手が道路交通法違反容疑となる事案を発生させてしまったことに対してまず被害に遭われた方に心よりお詫びを申し上げます。あわせてコロナ禍の中、厳しい環境の中で引き続きガンバ大阪をご支援いただいているサポーターやファンの皆様、スポンサー企業の皆様、ホームタウンの皆様、そしてガンバ大阪に関わる全ての皆様に対して心よりお詫びを申し上げたいと思います。申し訳ございませんでした。

本件につきまして、昨日起こりました事象の経過について説明をさせていただき、その後に皆様からのご質問にお答えをしたいと思います。

事件の概要についてご説明をさせていただきます。10月24日、ホームゲームが開催されました。その後、チームとしては20時に解散をしております。その後、知人宅の方で食事をした後に自家用車で大阪・ミナミの方に移動し、駐車場に車を停めて心斎橋付近のバーやクラブで早朝まで飲酒をしながら食事をしておりました。10月25日、翌日午前8時前に駐車場に停めていた自家用車でクラブハウスの方に向かう途中、8時35分頃、近畿自動車道千里吹田線の追い越し車線を走行中、左前側ボディを走行車線の自動車と接触するが、本人は自動車との接触とは認識せず、クラブハウスへ向かったようです。午前9時前にパナソニックスタジアム吹田クラブハウスに到着し、10時からの練習に参加。練習後、11時30分にクラブハウスで警察の方に事情を聴かれ、任意同行を求められました。12時頃から約4時間から5時間、17時頃まで大阪府警察本部交通部高速道路交通警察隊近畿吹田分駐所で事情聴取を受けました。あわせてアルコール検査を受けた結果、基準値を超えるアルコールの検出を確認されたとのことです。警察の事情聴取が終わってからの約17時頃、クラブハウスに戻り約1時間、私も含めガンバ大阪関係者と本人との事実確認を行った次第です。以上、概要についてとなります。

#### ■質疑応答

—今回の件についてアデミウソン選手本人は何と仰っているのかお聞きしてもよろしいですか。

小野「とにかく昨日会った時はいつものアデミウソンの表情とは違ってかなり反省している表情を受け取りました。」

—申告しなかった理由としては認識していなかったということですか。逃げたということではなくて。

小野「本人は車と接触したという認識がなくてですね。ただ、少しぼーっとしている感じがあったようで、ガツンという衝撃は認識をしまして、ですので車と接触した認識がないということですので、表現的には当て逃げという意識はなかったと、これは本人のコメントでございます。」

—例えば飲酒状態だったので逃げるに至ったとかそういうことではなく、認識していなかったということですね？

小野「はい、その通りです。」

—過去、アデミウソン選手に関して似たようなお酒のトラブルはあったのでしょうか。

小野「一切ございません。」

—今回練習の直前、クラブハウスへ向かう直前まで飲んでたということだと思うのですが、実際どれぐらいの飲酒量だったのかということは本人から聴き取りはされているのでしょうか。

小野「本人からは確認は取れておりませんがその辺りの情報につきましては回答は差し控えさせていただきますようお願いしております。理由としてはまだ捜査の途中でございますので、その捜査に影響もございませんので、申し訳ございませんけれども回答は差し控えさせていただきますと思います。」

—練習日に朝方までお酒を飲んで次の日の練習に来るとするのはアスリートとしては考えものかなと思うのですが、こういったことは頻繁にあったのでしょうか。

小野「私の知る限りではなかったと認識をしておりますし、今、仰られたようにプロのアスリートとしての資格があるのかということと言われた通りだと思います。ただちょっとわからないんですけども前の日に、前のゲームで彼が殊勲者でゲームを勝ち獲って、ちょっと少しハイになっていたのかもしれませんが。そこはちょっと想像にはなりませんけども。」

—今、仰られたような、なぜこの日この時間まで飲酒をしていたかというようなことは本人から直接話が出ていないということですか。

小野「早朝までということで回答は差し控えさせていただきますと思います。」

—警察の検査で発覚したということですが、どうかたちの検査だったのか、呼気検査だったのかという点と、今、選手本人がどうしているか教えていただけますか。

小野「検査の内容は我々は確認は取れておりませんが、お聞きもできておりません。彼自身につきましては、昨日の時点で本人には伝えましたけれど謹慎処分というかたちでまだ捜査段階中ですので、容疑という今状況ではありますけれど、この後の捜査の結果をふまえて最終のジャッジをさせていただきますようお願いしておりますけども、昨日の時点では謹慎、本日クラブは休日、お休みですけど明日からまた再開しますが、当然のことながら明日からもチームには合流しないというかたちを取らせていただきます。基本的には自宅待機というかたちでは伝えておりますけども、ただ少し食事のために買い物に行ったり、軽く食事というのはそれはもう仕方ないところでもございますので。」

—同様の案件が新潟で起こったばかりという部分はあると思うんですけども、今後の捜査を含めてというスタンスではあると思うんですけども、かなり厳しい立場でクラブとしては対処をするという解雇を含めてということではあると思うんですけどもその辺の対処についてはどのようにお考えでしょうか。

小野「申し訳ございませんけれども最終の結果をふまえて判断とさせていただきますようお願いしておりますし、当然結果が出た時点では皆様にきちっとお知らせをさせていただく予定でございます。」

—アデミウソン選手の聴き取りのことなんですけども、早朝まで飲食されていたということで本人は酒気帯び運転の自覚はあったかというお話でしたか。

小野「朝 8 時ぐらいに車を取りに行き、彼のコメントですけどもそんなにフラフラした状態でもなかったの、当然日本の法律は認識しているのかということに対しては認識しているという風に伝えておりましたけど、彼の言葉、感覚では二日酔いで車に乗ったというコメントではなかったです。」

—細かいことになってしまいますが、飲食店から直接車を取りに行ったのか、自宅に戻ってから車を取りに行ったのか、どういう状況だったのでしょうか？

小野「ヒアリングはさせて頂いておりますけれども、その辺りは捜査に支障をきたす可能性がございますので、申し訳ございませんが、コメントは差し控えさせていただきます。」

—飲酒とは別にこのコロナ禍の中で、夜のバー、クラブに行くっていうようなところは、クラブ側として、夜の会食とかは禁止していたのでしょうか。

小野「当然のことながら、特に緊急事態宣言が発令されてからガンバ大阪として選手へのルール決めはしております。ただし、曖昧と思われるかもしれませんけども自粛というルールとなっております、そこは禁止にして厳しいルールにしておいた方がよかったと私自身の反省はあります。ただ、政府よりも条件が緩和されている中で、我々としては同じ条件で、コロナ感染のリスク対策をしっかりとやっていきましょうと、そこは選手たちは協力してくれていると私は思っております。」

—事故が起きてから警察が来るまで早かったのですが、当てられた車の方から警察の方に被害届が出されたからでしょうか。

小野「どなたから通報があったかはお聞きしてませんけれども、接触、被害者の方と後続車の方がおられて目撃されたと少し情報としては聞いております。どちらから通報されたかというのは確認をとれておりません。」

—この件に関して他の選手への報告はされているのでしょうか。

小野「昨日の時点で全選手に共有させて頂いております、明日 10 時からの練習の前に再度私から選手全員に今回の共有と、具体的な内容はこれからになります、再発防止についてしっかり取り組むように話をする予定です。」

—最後にクラブとして処分を決めるタイミングなんですけれども、刑事処分のどの段階で判断されるのでしょうか？略式起訴、書類送検、罰金刑など、どの段階でしょうか。

小野「なんらかの処分が確定された時点で、我々の中で検討しなければならないと考えております。」

—ということは警察の捜査が終わった段階では判断しないということでしょうか。

小野「少し捜査の時間がかかるかもしれないと聞いておりますので、そうですね、その内容になると思います。」

—練習にアデミウソン選手が参加されていたということですが、その時の様子はクラブとして判明していることはありますでしょうか。

松波「その点については、私がお答えします。私も練習を見学しておりましたが、普段と変わらずトレーニングを行っておりました。」

—特に、例えばお酒の様子が分かることはなかったですか。

松波「はい。なかったです。」

—クラブとしてアデミウソン選手本人の問題だと思えますけれど、再発防止策等現時点で決められていることがあれば教えてください。

小野「現時点でここでお伝えできるまだ段階ではありませんけれど、当然ガンバ独自でしっかりと考えて設定をして取り組んでいくということも重要ですが、Jリーグの協力も仰ぎながら、我々の責任企業でもきちんとした組織がございますので、再発防止、二度とこういうことを起こさないようにしっかり徹底して行動してアクションをとっていきたいと考えています。」

—松波さんに聞いたほうがよろしいかと思えますけれど、アデミウソン選手はこのコロナの状況で家族がブラジルから来れなくて。例年家族と過ごしていたりとかあると思えますけれど、そういう状況を少し把握されている範囲で教えていただきたいのですが。家族が来ていたのかとか。

松波「今はコロナ禍の状況なので家族は来ておりません。」

—なにかそういうのでストレスをためているのかなとかいう様子は何か感じられていましたか。

松波「そこは多少ストレスというか、例年とは違うところなので、特にブラジル人は家族を大事にする、我々もそうなんですけれど、家族の支えというのが非常に大事な部分だと思っておりますけれど、プレーを含めてストレスを多少ためながら、我々も会話をしながら、現状どうだということは、通訳を介して話をしていますし、ストレスが全くなかったかといえばそういうことはなかったと思えますけれど、彼もしっかりとこの状況を理解してプレーに集中できるようにして、我々もサポートをしておりました。」

—さきほど少し話が上がった新潟の件を受けて、何かガンバとしてこれまでに何か選手に話をもししていたら、そういうのがあればお聞きしたいのと、飲食は知人宅に寄ったその知人と同席して行っていたのか。

小野「複数人数での会食とは聞いております。」

—飲食をした後に睡眠をとっていたかとか細かいところは。

小野「その部分については捜査の支障ということで差し控えてもらいたいと思います。」

松波「選手に対してはチーム全体というよりは個別でこういう事象があったということを伝えて、コンプライアンス含めて気を付けるようにと伝えております。」

—新潟の件を受けて？

松波「はい」

—アデミウソン選手にも伝えていた？

松波「直接は伝えていません。」

—通訳を介してですか？

松波「はい」

司会「質問もないようでしたら、こちらで終了とさせていただきますが、いかがでしょうか。大丈夫でしょうか。では、お忙しい中お集まりいただき有難うございました。こちらで本日の会見を終了とさせていただきます。」

小野「本当にご心配をおかけして申し訳ございません。先ほどの繰り返しになりますけれど、クラブとして二度とこういうことが起こらないように、再発防止に取り組んで参りますので、引き続き皆様と連携をさせていただきたいと思います。本日は有難うございました。」